

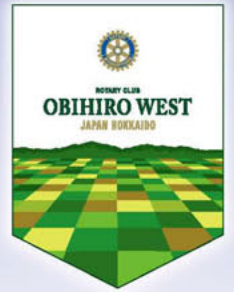


帯広西ロータリークラブ

第2061回例会

2014.9.25

会報



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

ゲスト紹介

RI第2500地区ガバナー 奥 周盛様
 第6分区分ガバナー補佐 川田 章博様
 地区副幹事 小白 智志様

会長報告

平田利器会長

皆さんこんばんは。

本日は国際ロータリー第2500地区、奥 周盛ガバナーをお迎えしての例会であります。ガバナーにおかれましては第2500地区公式訪問も最後の67クラブ目が今日でラスト訪問です。短期間にこの広くて長い地域を地区大会前に完了されますことは、誠に驚異的で心から敬意を表さずにはられません。本日は午後3時30分に到着し準備をされ、4時から会長幹事懇談会をしていただき、4時30分よりクラブ協議会、6時30分より公式訪問例会、本当にお疲れ様です。沢山の御指導を戴き当クラブに生かせる様に致したいと思います。また、10月10～13日に開催されます地区大会の準備では、事務局も必死に企画されていると



想像いたします。西クラブは会員皆様の御理解と御協力で全員登録をさせていただきました。多くの皆さんの出席を御願いたします。

義援金の御協力誠に有り難う御座いました。74名の尊い命が失われ、いまだ避難生活を続けなければならない数多くの人達がいることは心が痛みます。又東日本大震災で被害にあった方、い

まだ行方不明者は2601人を数え自宅へ戻れない被災者はまだ24万人もいると聞きます。先達での豪雨被害で、石巻の仲間の会社が震災の津波で店舗が約1.5m泥に埋まり何とか昨年10月に営業再開しましたが、8月の集中豪雨で又2m近く水没し再開不能かもしれないと嘆いています。北海道でも、苫小牧、大樹方面で被害がでましたが幸い生命の危機からは逃れた様でまず安心。しかし日を追う毎に少しずつ記憶から遠ざかる事も人間の摂理でしょうか。風化させないために、また、日頃から備えをする心構えが大切であることが被害を少なくする事だと思えました。以上会長報告とさせていただきます。

会務報告

天野清一幹事

①帯広南RC、9月29日(月)の例会は、休会と致します。

②2014-15年度RI第2500地区

地区大会開催のご案内

日時 平成26年10月10日(金)～10月12日(日)

第1日目(10/10)：記念親睦ゴルフ大会

8：30スタート 帯広国際カントリークラブ

第2日目(10/11)：本会議第1日

9：00受付 10：00～帯広市民文化ホール

：大会記念大懇親会

18：00～ ホテル日航ノースランド帯広

第3日目(10/12)：本会議第2日

8：30受付 9：00～帯広市民文化ホール

③帯広南RC、10月13日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

ニコニコ	9月25日	36,000円	
献金	累計	232,221円	(9月25日現在)



会長 平田 利器 副会長 佐々木和彦 会場監督理事 堂山 啓太 発行：広報委員会
 幹事 天野 清一 副会長 飯田 正行 プログラム委員理事 久保 且佳 委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
 創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

ニコニコ献金

奥 周盛 ガバナー

川田 章博 ガバナー補佐

最後のガバナー公式訪問、ご苦
労様でした。クラブの皆さんよろ
しくお願いします。

川田 章博 会員

鈴木会員、川上会員のロータリーの友への投稿、
大変ありがとうございました。

奥原 宏 地区幹事

川田ガバナー補佐に大変お世話になりました。

小白 智志 地区大会ゴルフ部会担当

貴RCの皆様に多大なるご理解とご協力をいただき、
おかげをもちまして参加登録者数120名とな
りましたこと、心より感謝申し上げます。

平田 利器 会長

本日は奥周盛ガバナーをお迎えしての例会です。
ご講話よろしく申し上げます

親睦活動委員会



川上 哲平 会員

64回目のエージシュート達成しました。今年中に
70回目指します。

鈴木 享 会員

米山記念委員会、古田委員長の「優しい」ご指導
により米山功労賞を戴きました。

茨木 雅敏 会員

9月2日から続いていた禁酒を本日より解禁しま
す。

増井 信也 会員

ちょっと遅くなりましたが、先日のゴルフ同好会コ
ンペで準優勝しました。合わせて先月の北海道マ
ラソンで無事完走しました。ちゃんと2回分献金し
ます。

2014-2015年度 ガバナー公式訪問

ガバナーあいさつ

奥 周盛ガバナー



講話に先立ち
まして、当西
RCの皆様
におかれまして
は4年前に柴
田ガバナー、
本年度は川
田ガバナー補
佐、三野宮地

区委員長を輩出していただきまして感謝申し上げます。

先日広島への災害に対しての義捐金をお願いいたしましたが、礼文の災害についてもガバナー事務所からお願いが来ております。現在の礼文の状況としまして、礼文RCのメンバー14名全員が災害復旧にかかわっております、年内は例会を開けないとのことでした。改めて皆様に義捐金のご協力をお願いさせていただきたいと思っておりますので、その節はよろしく願いいたします。

本年度のRIテーマ「ロータリーに輝きを」は、2500年前の孔子の教えを引用したと言われております。「ただ座って暗闇を呪うよりもろうそく

を灯したほうが良い」という言葉から、ただじっとしているのではなくて行動を起こしましょうということであると私は理解しております。ロータリーというものは困っている人がいれば支援をし、困っている問題があれば解決をするといった、何か行動を起こしましょうということであると理解しております。

「自分の行いを正しくし、家庭を整え、次に国家を収めてこそ、天下が平和になる」という孔子の教えを論語では、次の4つの言葉、脩己、世家、治国、平天下で表しています。

ロータリーの目的の第3項「ロータリアン一人一人が個人として、または事業・社会生活において、日々社会奉仕の精神を実践すること」とあり、ロータリーは団体奉仕するのではなく、個人奉仕をするところですよとっております。それが「アイ、サーブ」であり、「奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する」というシナリオになっています。このことがまさしく2500年前に孔子の教えとなっていたことは、孔子が元祖ロータリアンであるとゲーリー・ホワン会長はおっしゃりたい

のでは？と思うわけでありませぬ。

そしてこの論語には、ロータリーと共通するところがたくさんあるわけでありまして、共通する点を比較するために表を作ってみました。仁（おもいやりの心）⇒利他の心 君子（徳を収めたリーダー）⇒リーダーシップを磨く努力 友（孔子の教えを共に身に付けた仲間）⇒友人（ロータリーの奉仕の精神を通じて、高めあい親睦を深める） 学習（歴史・先人の知恵を学び、その知識を繰り返す）⇒研修（ロータリーの歴史・先人の知恵を学ぶ）*前者が論語、後者がロータリー

ロータリーの歴史には、ロータリーの3賢人と言われるフランク・コリンズ、アーサー・シェルドン、チェスリー・ペリーがいます。フランク・コリンズはロータリーの第1標語である「超我の奉仕」の生みの親であります。アーサー・シェルドンは第2標語である「最も多く奉仕するもの、最も多く報いられる」という言葉を残し、チェスリー・ペリーは標語を残してはおりませんが、ポールハリスの片腕と言われ30年間初代事務総長を務められ、現在世界に広がる国際ロータリーの礎を作った人物といわれております。その他にみなさんよく御存じの「4つのテスト」を作ったのが、ハーバート・テラーであります。このように我々はロータリーの歴史を学ぶことで先人の知恵を知り、ロータリーの奉仕の理想を学び、実践しているのがロータリー活動であります

中庸（価値観のバランスが大事）⇒寛容（多様性を受け入れる度量を持つ） 天命（誰しも天から授かった使命がある）⇒天職（職業奉仕というのはボケショナルサービス）

2010年に策定されたロータリーの戦略計画（長期・中期にわたる指針）には、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージの認知度と向上の3つの柱があります。その中で中核的価値観（親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ）が論語のキーワードとほとんど一致することに驚くと同時に、ゲーリー・ホワン会長



の中国人としての誇りを感じました。

ロータリー理念と論語の共通するところは、実践哲学であり、哲学というものは頭にある知識にとどまらず、生活の中で実践することで初めて役に立つということでありませぬ。中核的価値観が我々の生活の中でどの様に生かされているかという点でご参考にしていただきたいのが、「私たちは親睦を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。私たちは高潔性をもって約束を守りぬき、倫理を守ります。多様性を誇るロータリーは、様々な考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みませぬ。私たちは奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みませぬ。」という一文です。まさしく我々のロータリーの活動はここに表記されていると思ひませぬ。ロータリーの原点は1905年に始まり110年の歴史であります。この110年が孔子の2500年に追いつているのだから、大変すばらしい団体だと私は思ひませぬ。

RIテーマから論語とのかかわりをご説明させていただきましたが、改めて考えてみると大変奥が深いものだと感じました。一昨年、日本から3人目のRI会長としてとして出られた田中作次さんは「奉仕を通じて平和を」のテーマのもと、「平和フォーラム」を広島、ベルリン、ホノルルで開催しました。この3都市に共通するイメージは戦争でありませぬ、平和というキーワードを強く意識されていたのではと感じました。

「ロータリーに輝きを」の原点はロータリアン一人一人の輝きであり、それは奉仕の喜びと感動であると私は考えませぬ。そこで皆様方にご紹介したいプログラムがあります。それは「ロータリーモーメント」というプログラムで、自分のロータリーライフの中で、一番感動したことを3分間スピーチで紹介するトレーニングであります。モーメン

トは瞬間という意味の他に、動機・きっかけという意味もあります。

私は22年のロータリー歴なのですが、その間一番感動した事業という「マッチンググラウンド」という事業を上げます。2007～8年度にクラブ会長をした時に、帯広RCの事業として実施しました。タイの3330地区(2500地区と友好地区で互いに奉仕プロジェクトをやっているパートナー)で、障害児の為の移動教室という事業をやりました。かかった費用としてはおよそ330万円で、これにはロータリー財団からの補助金が7～8割入ってきます。その資金で学習教材を積んだ車を寄贈しました。このことによって、識字率向上に繋がり、子供たちの世界が広がり、夢・希望を持って成長して貰えるだろうという期待します。特に学校に通えない障害児に対して、マッチンググラウンドのような事業が行われたことは私にとって大変思い入れの深い取り組みとなりました。ロータリー財団を創設された方は、アーチシー・クランプという方で、「世界で良いことをしよう」という標語が残っております。

ロータリアンの喜びが奉仕の喜びだとすると、クラブが輝く要素として、会員基盤、豊かなアイデアに基づく素晴らしいプロジェクト、プロジェクトが地域社会にもたらす成果、成果によってクラブの認知度が高まるといったことが、クラブの輝く要素であろうと考え、円となるチャートを考えました。 会員基盤⇒多様な会員構成⇒積極的な参加⇒豊かなアイデア⇒素晴らしいプロジェクト⇒地域社会にもたらす成果⇒公共イメージと認知度の向上 このサイクルが好循環で回ること

組織の持続性が生まれ、それによってクラブは輝くのだろうと思います。

効果的なロータリークラブというのが、15年にならんとするCLPの中に出てきます。この中に、会員基盤・奉仕プロジェクト・ロータリー財団がポイントとして挙げられ、リーダーの育成も重要視されています。リーダーの育成には会員増強、ロータリーの理念の継承があり、これは先ほどの持続性にもかかわってくる部分であります。最後になりますが、2018年までにポリオ撲滅を達成すること。これはゲイツ財団の協力期限も関係しております。

ロータリー財団に寄付したお金は3年後に地区に半分戻ってくるようになっており、先ほどのマッチンググラウンドのような事業ですと、他に財団からの補助金も活用できますので、プロジェクト資金の7～8割を賄うことができます。財源はすべて皆様方のご寄付によりますので、財団の資金を活用していただき、素晴らしいプログラムを実施していただくと同時に寄付もお願いし、寄付ゼロクラブをなくしたいというのが私の考えです。

また、米山記念奨学会は日本独自の取り組みであり、皆様方には変わらぬご協力を今年度もよろしくお願いいたします。それから、例会への出席の他に、各種大会(国際大会・地区大会)への参加をお願いいたします。出席があって親睦につながり、親睦から奉仕へつながると思っております。以上、ご清聴ありがとうございました。



謝辞 平田会長